

公 共

設 計 図 書
(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

2026 年度施行

公共下水道 瀬越污水中継ポンプ所改築・更新工事（電気設備）

留萌市

特 記 仕 様 書

公共下水道
瀬越汚水中継ポンプ所改築・更新工事
(電気設備)

特 記 仕 様 書

令和8年度

留 萌 市

目次

第 1 章 総則

| | |
|---------------------------|---|
| 第 1 節. 一般事項 | 1 |
| 第 2 節. 適用規格 | 4 |
| 第 3 節. 検査及び試験 | 5 |
| 第 4 節. 保証 | 5 |
| 第 5 節. 特定建設資材の分別解体等・再資源化等 | 5 |

第 2 章 瀬越汚水中継ポンプ所

| | |
|-------------|---|
| 第 1 節. 設備機器 | 6 |
| 第 2 節. 機器仕様 | 6 |

第 3 章 安全対策

| | |
|-----------------|---|
| 第 1 節. 施工上の安全対策 | 9 |
|-----------------|---|

第 4 章 工場検査及び試験

| | |
|-------------|----|
| 第 1 節. 工場検査 | 10 |
| 第 2 節. 試験 | 11 |

第 5 章 運転操作方案

| | |
|-------------|----|
| 第 1 節. 共通事項 | 12 |
|-------------|----|

第 1 章 総 則

第 1 節 一般事項

1.1.1 適用の範囲

本仕様書は、公共下水道瀬越污水中継ポンプ所改築・更新工事（電気設備）に適用するもので、法令その他特別に定めるものの他は、すべて工事請負契約書、本仕様書及び設計図書に基づき、これらに記載の機器類を製作し、監督員の検査に合格した後、現地搬入、据付けの上、試運転を行うものとする。

1.1.2 施工範囲

本工事の施工範囲は、仕様書、設計書、及び図面にに基づき、本工事に関わる一切の必要とする工事一式の電気設備機器類を製作し、据付けの上試運転を行うものとする。

本仕様書に特に規定しない事項については、公共建築協会制定「電気設備工事標準図」、日本下水道事業団制定「電気設備工事必携、電気設備工事施工指針、電気設備標準図」、日本下水道協会制定「下水道施設設計指針と解説」、「下水道工事施工管理指針と解説」等によることとする。

また、機器の据付けにあたり、耐震計算を行うこと。

1.1.3 工期

本工事着手時期は、契約締結後 5 日以内とし、工期は、工事契約書通りとする。但し、天災その他やむを得ない理由により期間内に工事を完成させることができない場合は、その理由を明記して工期の変更を申出のこと。

この場合においても留萌市の見解により、その願出が正当と認めた時に限りこれを承認する。

1.1.4 適用規格

本工事は、契約規則工事請負契約書、その他規格に準拠して、仕様書、設計書、及び図面にに基づき、監督員の指示に従い完全に施工しなければならない。

1.1.5 事業の性質

本工事は、公共事業として行うものであるから、労働基準法、職業安定法その他関係法令に従って施工しなければならない。

1.1.6 提出図書

機器承認申請書・製作仕様書・施工図・工事写真・完成図書・施工計画書・試験成績表・取扱説明書等監督員の指示による部数を提出のこと。

1.1.7 打合せ

工事着手に先立ち、設計内容、工事工程表、その他工事と関連等を監督員及び関係者出席のもとに行うものとする。

1.1.8 指示・承認

仕様書、設計書、図面において、施工上明瞭でない箇所又は疑義を生じた場合は、監督員の指示に従わなければならない。又、本設備の目的、機能、保安及び法規上必要なものは、全て請負人の負担で整備しなければならない。

1.1.9 請負人の負担

- (1) 軽微な事項で、仕様書、設計書、及び図面に記載されなくても、施工上欠くことのできない、材料及び機器類、作業に要する費用
- (2) 各試験、検査及びこれに必要な写真撮影に要する費用
- (3) 工事施工に当たって関係機関、その他この手続きに要する時は、これに要する書類を作成して一切を代行する費用
- (4) 軽微な事項で工事上傷害となる支障物の除去及び工事によって発生した不要物の片付けに要する費用
- (5) 工事中及び竣工写真に要する費用
- (6) 工事のために第三者に与えた傷害で請負人の責に処すべきものの賠償に要する費用又は、工事施工のため、既設工作物に与えた損傷の復旧費用

1.1.10 官公庁の手続き

工事中は、官公庁、企業者、その他と充分協議を保ち、工事の円滑な進行を計らなければならない。

又、工事中上記と交渉を要する時、あるいは交渉を受けた時は、遅滞なく、監督員に連絡し、その指示を受けなければならない。

1.1.11 工事現場管理

- (1) 工事現場には、工事者名、工期、事業主体及び工事施工者の住所氏名を標示した別に定める規格の標示板をたてなければならない。
- (2) 工事現場に隣接し、又は同一場所において施工する別途工事と競合する場合は、相互に協議して工事が円滑に出来るようにしなければならない。
- (3) 工事施工中は、既設工作物に支障を及ぼさないよう、必要な保護手段を講じなければならない。もし、既設工作物に損傷を与えた場合、又はやむを得ず一時除去する等の必要が生じた場合は、監督員に報告の上、その指示に従い適当な措置をとらなければならない。
- (4) 工事現場の一般人及び労務者の出入、監視、風紀、衛生の取り締まり及び火災、盗難、その他の事故防止については、請負人の責任によって十分に管理しなければならない。

- (5) 作業員の事故防止のため、保安帽、保安衣を着用させ、足場、手摺、照明施設等の整備をし、事故防止を計らなければならない。
- (6) 前記述外の事項でも、適時必要に応じて監督員の指示する現場代理を行わなければならない。

1.1.12 現場代理人及び労務者の選定

- (1) 請負人は、現場代理人 1 名、及び現場専任技術者 1 名を定めなければならない。
なお、現場代理人は現場専任技術者を兼ねることができる。
- (2) 請負人は、労務者を選び、秩序正しい作業をなさしめ、かつ熟練を要する施工には、相当の経験を有する熟練工を使用しなければならない。
なお、請負人の労務者が監督者の指示に従わない時、又は、工事作業に不相当と認めたときは、交替あるいは退去を命ずることがある。この場合、請負人は直ちに処置しなければならない。

1.1.13 工事報告書

請負人は、工事工程表、工事日誌、材料受払書、工事写真、労働者点検簿、材料検査表、性能テスト簿等を備えて、毎日記載すると共に、監督員が必要と認めたときは、遅滞なく閲覧に供さなければならない。

1.1.14 寸法の定義

仕様書、設計書、図面に示してある寸法は全て参考寸法である。

1.1.15 設計変更

本工事の内容に変更を生じた場合は、監督員と協議の上、その事項を決定しなければならない。請負人の責により生じた工事の増加に要する費用の増額は、一切認められないものとする。

1.1.16 材料及び規格

本工事に使用する機器類の製造に用いる部品材料は、全て後述の仕様書、設計書、図面の規格に適するもの又は、これに準ずるものでなければならない。

1.1.17 現場発生物

工事施工中に生じた現場発生物の処理は、監督員の指示に従わなければならない。

1.1.18 工事の中止

請負人は監督員の指示に従わない場合、又は不正な行為のあった時、その工事を中止させることがある。

1.1.19 技術者

据付工、試験工の技術者は、必ず製造会社からの派遣とすること。

第 2 節 適用規格

1.2.1 適要規格

- (1) 電気事業法
- (2) 電気設備に関する技術基準を定める省令
- (3) 内線規程
- (4) 電力会社供給規程
- (5) 電気用品取締法
- (6) 建築基準法
- (7) 消防法
- (8) 電気通信事業法、有線電気通信法
- (9) 労働安全衛生法
- (10) 日本工業規格 (JIS)
- (11) 電気規格調査会標準規格 (JEC)
- (12) 日本電機工業会標準規格 (JEM)
- (13) 日本電線工業会標準規格 (JCS)
- (14) 日本照明器具工業会規格 (JIL)
- (15) 工場電機設備防爆指針
- (16) 日本蓄電池工業会規格 (SBA)
- (17) 日本計量機器工業連合会規格 (JMIF)
- (18) 日本電力ケーブル付属品工業規格 (JCAA)
- (19) (株) 日本内燃力発電設備協会
- (20) その他関連法令、条例及び規格

第 3 節 検査及び試験

1.3.1 検査及び試験

前記各規格・基準に準ずる。

第 4 節 保証

1.4.1 保証

機器類は全て、使用開始後 2 ヶ年以内に請負の設計製作及び、不良に起因する事故が発生した場合には、無償にて取替え、又は修理を行い速やかに、完全なるものに復旧しなければならない。

第 5 節 特定建設資材の分別解体等・再資源化等

1.5.1 特定建設資材の分別解体等・再資源化等

本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（(平成 12 年法律第 104 号)。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、発注者が積算上条件明示し、受注者と協議するものとする。

第2章 瀬越污水中継ポンプ所

第1節 設備機器

| | |
|-----------------------|-----|
| (1) 污水中継ポンプ盤(SE-LC-1) | 1 面 |
| (2) 非常通報装置 | 1 台 |
| (3) ポンプ井水位計 | 1 台 |

第2節 機器仕様

(1) 污水中継ポンプ盤(SE-LC-1)

- | | |
|-----------|----------------------|
| 1) 数 量 | 1 面 |
| 2) 構 造 | 屋外自立形、S U S 製 |
| 3) 寸 法 | 設計図を参考とし、承諾図により決定する。 |
| 4) 盤内取付器具 | |

| | | |
|----------------------|---|-----|
| 配線用遮断器 | MCCB 3P 100AF | 4 台 |
| 配線用遮断器 | MCCB 2P 50AF | 1 台 |
| 配線用遮断器 | MCCB 2P 30AF | 3 台 |
| 配線用遮断器 | サーキットブロークタ 2P 30AF | 3 台 |
| 低圧電源用避雷器 | 3φ3W 250V 公称放電電流 10kA SPD 分離器内蔵(SPD クラスⅡ) | 1 台 |
| 電灯電源用避雷器 | 1φ2W 220V/110V 公称放電電流 10kA SPD 分離器内蔵(SPD クラスⅡ) | 1 台 |
| 電灯電源用変圧器 | 1φ 210V/105V 500VA | 1 台 |
| 計器用変流器 | 60/5A | 2 台 |
| 電源切替器 | 3P 100A 手動操作 | 1 台 |
| 電源切替器 | 2P 30A 手動操作 | 1 台 |
| 進相用コンデンサ | 3φ 100V 200μF | 2 台 |
| サーマルリレー | 3E タイプ | 2 台 |
| 零相変流器 | ZCT | 2 台 |
| Y-△回路用電磁開閉器(11kW 用) | | 2 組 |
| 地絡検出リレー | 51G | 2 台 |
| 停電検出リレー | | 1 式 |
| 浸水検知リレー (污水ポンプ付属品取付) | | 2 台 |
| 非常通報装置(取付スペース) | | 1 式 |
| 水位計変換器(取付スペース) | | 1 式 |
| 動力用WHM(北電支給品取付スペース) | | 1 式 |
| 電灯用WHM(北電支給品取付スペース) | | 1 式 |
| その他必要なもの | | 1 式 |

| | | | |
|-----------|---------------|-------|-----|
| 5) 盤面取付器具 | 電圧計 | 110 角 | 1 個 |
| | 同上切替スイッチ (VS) | | 1 個 |
| | 電流計 | 110 角 | 2 個 |
| | 水位指示計 | 110 角 | 1 個 |
| | ポンプ運転時間計 | | 2 個 |
| | ポンプ運転度数計 | | 2 個 |
| | 切替スイッチ (COS) | | 2 個 |
| | 押釦スイッチ (PBL) | | 4 個 |
| | 集合表示灯 | | 1 式 |
| | その他必要なもの | | 1 式 |

(2) 非常通報装置

| | | | |
|---------|-------------|----------------------------|-----|
| 1) 数 量 | | | 1 台 |
| 2) 設置場所 | 汚水中継ポンプ盤内収納 | | |
| 3) 仕 様 | 使用回線 | 一般加入電話回線 | |
| | 通報先数 | 3 ヶ所以上 | |
| | 故障通報メッセージ数 | 4 種類以上 | |
| | メッセージ録音 | I C メモリー | |
| | 停電補償 | 1 回以上の通報動作可能容量のバッテリーを内蔵のこと | |
| | 電源 | A C 1 0 0 V | |
| | 寸法 | メーカー標準 | |
| | 付属品 | 小型壁掛電話機 | 1 台 |

4) メッセージ内訳

1 号汚水ポンプ故障
2 号汚水ポンプ故障
ポンプ井水位異常 (HH 以上)
停電 (低圧動力又は電灯で停電 3 0 sec 以上発生した場合)
ポンプ暴走非常停止中
ポンプ井水位計異常
制御電源断

(3) ポンプ井水位計

| | | |
|---------|---------------------|-----|
| 1) 数 量 | 1 組 | |
| 2) 形 式 | 投込式 | |
| 3) 精 度 | ±0.5% (FS) | |
| 4) 計測範囲 | 設計図を参考とし，承諾図により決定する | |
| 5) 構 成 | 検出器（ポンプ井） | 1 台 |
| | 材質：本体 SUS316 相当、 | |
| | 付属：中空ケーブル、吊下チェーン | |
| | 変換器（汚水中継ポンプ盤収納） | 1 台 |

第3章 安全対策

第 1 節 施工上の安全対策

6.1.1 第 2 種酸素欠乏危険作業主任者の配備

密閉箇所に入る場合は、悪性ガス、硫化水素、メタンガス、酸欠、可燃性ガス等が存在するかどうか測定し、人体又は施工上に支障がないかどうか判断する。また、作業に従事している者が、適切な安全器具の装備又は行動の監督を行う。なお、用意するものとしては、主任者や作業員が使用するガス測定器及び検知器をはじめ、酸素ボンベ、防毒マスク等がある。

6.1.2 密閉箇所内の換気

密閉箇所へ送気し、密閉箇所内悪性ガスを排出し、作業車や工事等への悪影響がないように換気を行う。又は、送気用には必要容量のブロワと電源として、携帯用の発電装置を設ける。なお、発電機は工事に伴う照明用、その他材料加工にも使用するものである。

6.1.3 高所作業

高所で作業する場合には、転落又は身を守るため、作業用安全網・安全帯を必ず装備すること。

6.1.4 安全作業服

安全器具の着装（ヘルメット、手袋、安全靴、その他服装等）を厳守すること。

第4章 工場検査及び試験

第 1 節 工場検査

7.1.1 工場検査

1. 工場検査の実施に当たり、請負人は材料検査願と共に検査実施計画を監督員に提出すること。
2. 原則として、下表にあげる機器及び資材類は、製作の過程あるいは作成完了後、適時、監督員のもとに工場検査を行うものとする。なお、監督員は必要があると認めた場合は J I S 規格による材料品質検査証明の提出、或いは材料試験機関による試験を行うことができる。

| 工場検査対象の機器及び資材類の名称 | |
|-------------------|-----|
| 汚水中継ポンプ盤(SE-LC-1) | 1 面 |

3. 検査の試験方法は、J I S 規格、又はその他公的機関によって、規定されているものを準用すること。
4. 工場検査対象の機器及び資材類であっても、やむを得ない場合は、製造業者の試験記録をもって、検査を省略することもある。又、汎用機器等については、性能試験成績表、或いは、品質保証書の提出によって、検査を省略することができる。
5. 検査成績表、性能試験表及び写真等は、検査終了後、材料検査調書として、速やかに監督員に提出すること。
6. 機器及び資材類等は、全て工場検査に合格したものでなければ、現場へ搬入してはならない。

7.1.2 機器及び資材類の搬入検収

工事に使用する主要な機器及び資材類について、材料承認願を速やかに監督員に提出し、検収を受けること。その範囲は、監督員の指示による。

7.1.3 工場検査の費用負担

工場検査に要する費用は、全て請負人の負担とする。

第 2 節 試 験

7.2.1 現場試験

現場試験は、工事完了後監督員と協議した項目について行うこと。

7.2.2 試験の方法

現場試験は、他工事と試験時間を調整して行うこと。

第5章 運転操作方案

第1節 共通事項

1. 本工事の制御システムは、次頁以降の「運転操作方案」に基づいて構成する。
2. 運転操作方案による場合において、これにより難いとき、又は特殊なものについては、別途協議するものとする。

3. 運転方式

運転方式の表現は、操作場所、切換方式、条件及び符号で表現する。

1) 操作場所の表し方

該当する操作場所内にある切換スイッチ（C O S）、操作スイッチ（C S）を1点鎖線で囲み、操作場所を明記する。

2) 切換方式、操作方式の表し方

切換スイッチ（C O S）、操作スイッチ（C S）等の符号にて明記する。

| | |
|-------|---|
| C O S | |
| Z | Z |

：切換スイッチ[Z：操作場所を記入]

| | |
|---|---|
| C | S |
| Z | Z |

：操作スイッチ[Z：操作場所を記入]

| | |
|-----------|---|
| S S + M S | |
| Z | Z |

：2挙動スイッチ[Z：操作場所を記入]

| | |
|-------|---|
| P B S | |
| Z | Z |

：押釦スイッチ[Z：操作場所を記入]

3) 運転条件の表し方

運転に必要な各条件を項目にして明記する。

4) 制御機器の表し方

制御機器の制御状態と共に明記する。

| |
|---|
| X |
| Y |

：制御機器[X：機器名称、Y：状態]

5) 各種条件符号の表し方



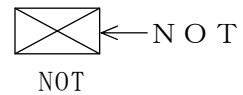
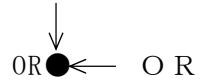
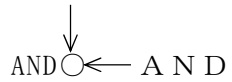
条件： Z：条件信号名

T：判定条件

S：設定値又は信号発生 of 動作



判断： Z：条件信号名



4. 表示方式

1) 表示方式の表現は、運転、状態、故障表示に分類し、該当する項目の○印を記入する。

2) 停止条件の表し方

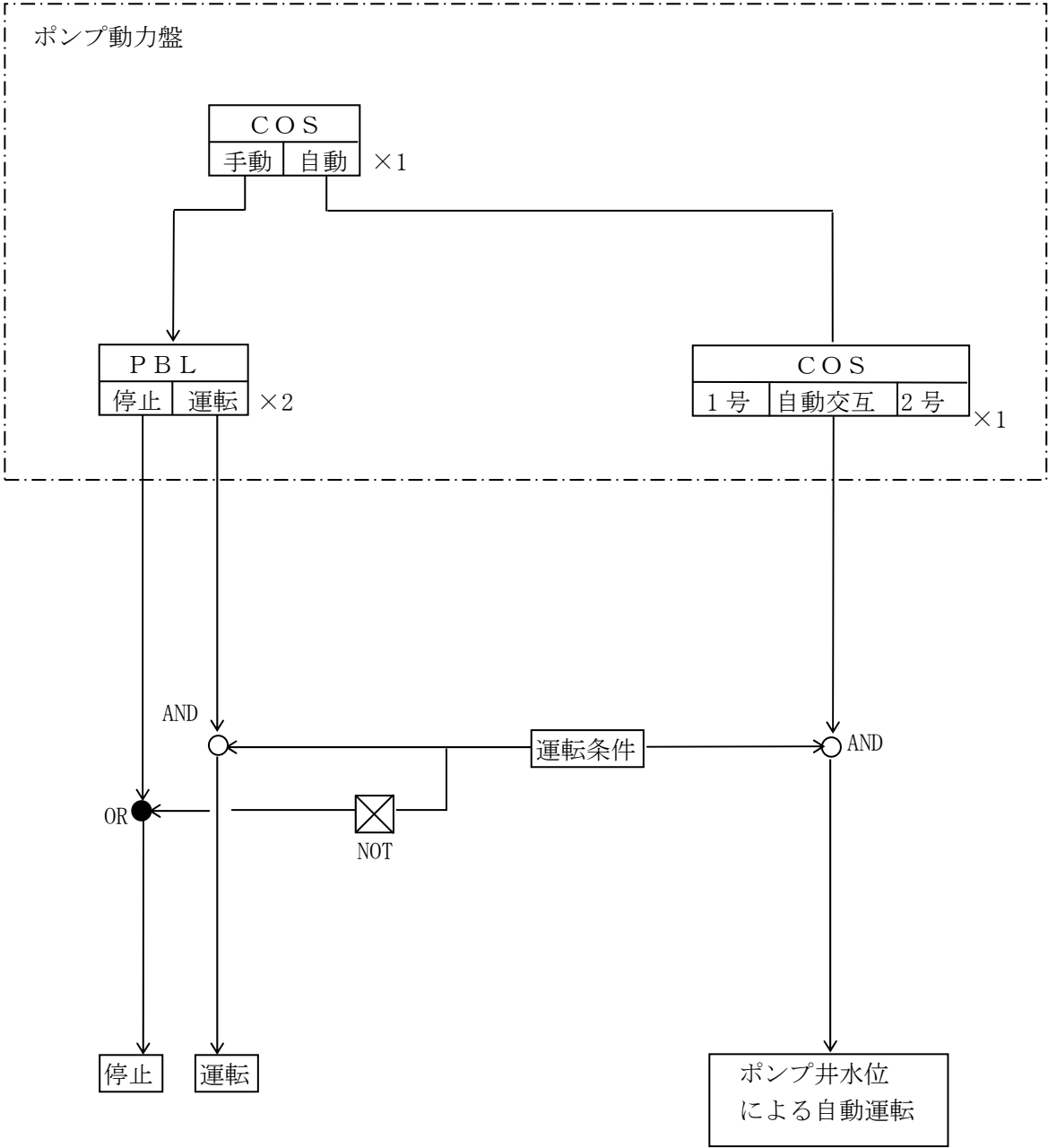
K：投入インターロック

T：遮断

S：遮断不可

【瀬越汚水中継ポンプ所】

| | | | | | |
|---------|-------|------|---------|--------|-----------|
| 区分 | ポンプ設備 | 機器名称 | 汚水中継ポンプ | 容量 | 11.0 [kW] |
| 操 作 方 式 | | | 既設 2 台 | 今回 0 台 | 全体 2 台 |



※自動交互選択時、投込式水位計 (H2 レベル) 及び水位計浮子転倒式水位計 (HH レベル) で汚水ポンプ 2 台運転する。

【運転操作条件】

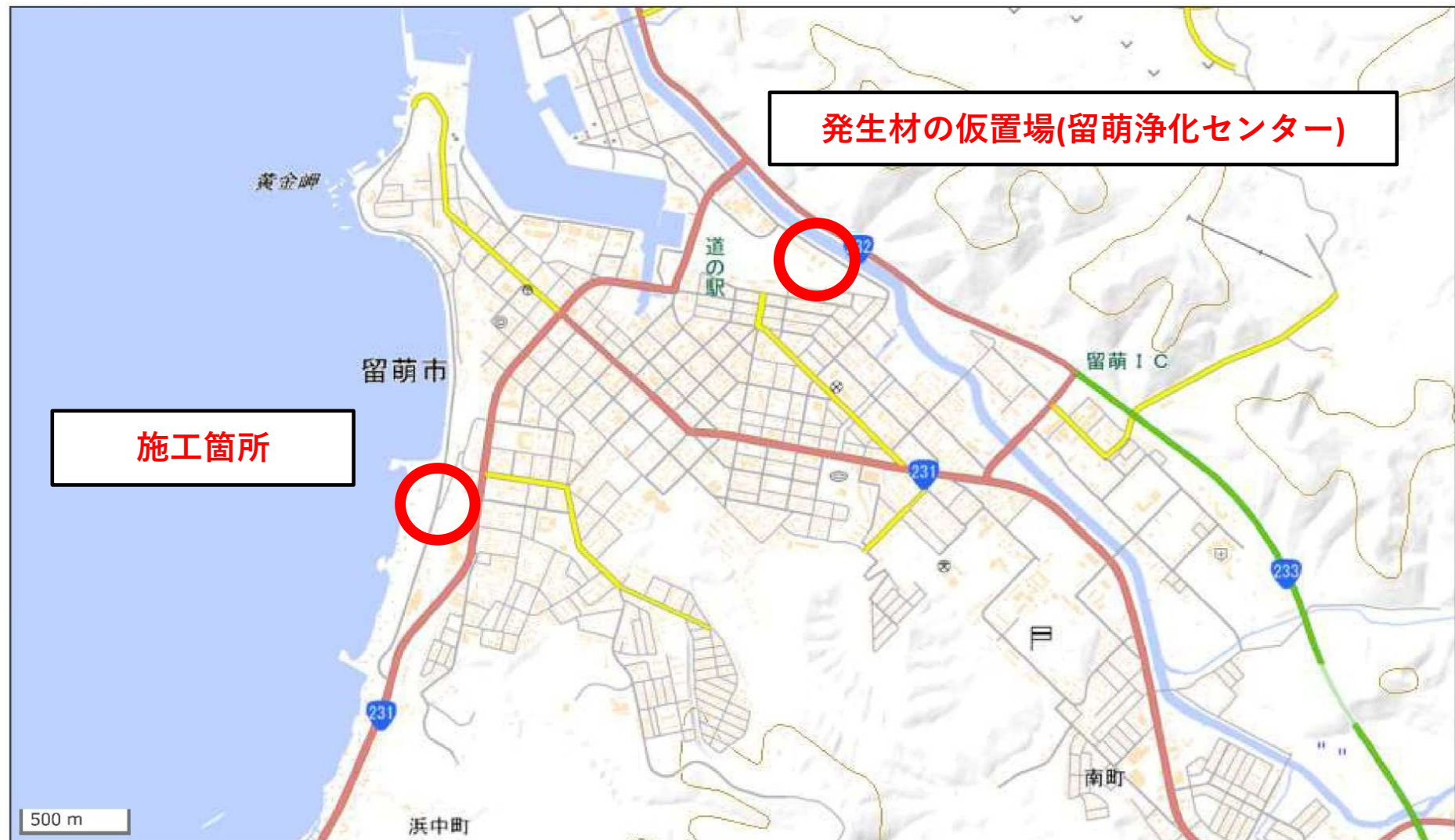
| 項 目 | 手 動 | 自 動 | | 備 考 |
|---------------|-----|-----|--|-----|
| 保護 R y 動作中でない | ○ | ○ | | |
| 温度高でない | ○ | ○ | | |
| 浸水でない | ○ | ○ | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| | 項 目 | 区分 | 瀬越汚水中継ポンプ所 | | | | | | 備 考 | |
|---------------------------------|-----------------|----|------------|---|--|--|--|------------|-----|-------|
| | | | 現 場 | | | | | | | |
| | | | ポンプ 盤 | | | | | 非常通 報装置 | | |
| 運 転 ・ 状 態 表 示 | 手動 | | | | | | | | | |
| | 自動 | | | | | | | | | |
| | 運転 | | ○ | | | | | | | |
| | 停止 | | ○ | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 運 転 操 作 | 手動－自動 COS | | ○ | | | | | | | |
| | 1号－自交－2号 COS | | ○ | | | | | | | |
| | 運転－停止 PBL | | ○ | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 故 障 ・ 異 常 表 示 | MCCB トリップ | G | } | ○ | | | | } | ○ | ポンプ一括 |
| | 51G 動作 | G | | | | | | | | |
| | 3E 動作 | G | | | | | | | | |
| | サーマル動作 | G | | | | | | | | |
| | 浸水検知 | G | | | | | | | | |
| | ポンプ異常運転 | G | | ○ | | | | | ○ | |
| | (L 検出一定時間後停止不可) | | | | | | | | | |
| | ポンプ井水位異高(HH 以上) | G | | ○ | | | | | ○ | |
| | ポンプ井水位計異常 | G | | ○ | | | | | ○ | |
| | 停電(動力、電灯) | G | | | | | | | ○ | |
| | 制御電源断 | G | | | | | | | ○ | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 指 示 計 器 | 電流計 | | | ○ | | | | | | |
| | 電圧計 | | | ○ | | | | | | |
| | ポンプ運転時間計 | | | ○ | | | | | | |
| | ポンプ運転度数計 | | | ○ | | | | | | |
| | ポンプ井水位計 | | | ○ | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

概数として扱う数量一覧表

| | | 工事名 | 公共下水道 瀬越污水中継ポンプ所改築・更新工事（電気設備） | 当初 | 事業区分 | 電気設備工 | | |
|---------------------|--|-----|---|-----|------|--------------|------|----|
| | | | | | 工事区分 | 電気設備工(直接工事費) | | |
| 工事区分・工種・種別・細別 | | | 規格 | 単位 | 前回数量 | 今回数量 | 数量増減 | 摘要 |
| 電気設備工(直接工事費) | | | | 式 | | 1 | | |
| 複合工 | | | | 式 | | 1 | | |
| 複合工 | | | | 式 | | 1 | | |
| 構造物撤去工 | | | | 式 | | 1 | | |
| 構造物とりこわし | | | 鉄筋構造物 機械施工 無し 無し 不要 | m 3 | | 2.5 | | 概数 |
| 共通仮設費 | | | | 式 | | 1 | | |
| 共通仮設費 | | | | 式 | | 1 | | |
| 準備費 | | | | 式 | | 1 | | |
| 準備費 | | | | 式 | | 1 | | |
| 殻運搬 | | | コンクリート（鉄筋）構造物とりこわし 機械積込 有り 8.0km以下 全ての費用 | m 3 | | 2.5 | | 概数 |
| 処分費（t） | | | | t | | 6.25 | | 概数 |
| 現場発生品及び支給品運搬 廃プラ | | | 2t積 2t吊 5.9km 0.01 t | 回 | | 1 | | 概数 |
| 処分費（t） | | | | t | | 0.01 | | 概数 |

位置図



工 事 数 量 総 括 表

| | |
|-----|-------------------------------|
| 工事名 | 公共下水道 瀬越污水中継ポンプ所改築・更新工事（電気設備） |
|-----|-------------------------------|

留萌市

工事数量総括表

| | | 工事名 | 公共下水道 瀬越汚水中継ポンプ所改築・更新工事（電気設備） | | (当 初) | 事業区分 | 電気設備工 | |
|---------------|--|-----|-------------------------------|--------|---------|-------|---|--|
| | | | | | | 工事区分 | 電気設備工(機器費) | |
| 工事区分・工種・種別・細別 | | 規格 | 単位 | 数量(前回) | 数量(今回) | 数量の増減 | 摘要 | |
| | | | | | | | 現場条件 | 単位 |
| 電気設備工(機器費) | | | 式 | | 1 | | | |
| 機器費 | | | 式 | | 1 | | | |
| 機器費 | | | 式 | | 1 | | | |
| 機器費 | | | 式 | | 1 | | < 1 式当たり > 汚水中継ポンプ盤 非常通報装置 ポンプ井水位計 | 面 台 台 1 1 1 |
| 機器費 | | | 式 | | 1 | | | |
| 電気設備工(直接工事費) | | | 式 | | 1 | | | |
| 輸送費 | | | 式 | | 1 | | | |
| 輸送費 | | | 式 | | 1 | | | |
| 輸送費 | | | 式 | | 1 | | < 1 式当たり > 東京起点輸送費 | t 0.52 |
| | | | | | | | | |

工事数量総括表

| | | 工事名 | 公共下水道 瀬越汚水中継ポンプ所改築・更新工事（電気設備） | | （ 当 初 ） | 事業区分 | 電気設備工 | | |
|---------------|----|-----|-------------------------------|--------|---------|-------------------------------|--------------|----|--|
| | | | | | | 工事区分 | 電気設備工(直接工事費) | | |
| 工事区分・工種・種別・細別 | 規格 | 単位 | 数量(前回) | 数量(今回) | 数量の増減 | 摘要 | | | |
| | | | | | | 現場条件 | 単位 | 数量 | |
| 材料費 | | 式 | | 1 | | | | | |
| 直接材料費 | | 式 | | 1 | | | | | |
| 低圧ケーブル | | 式 | | 1 | | < 1 式当たり> 低圧ケーブル | 式 | 1 | |
| その他電線 | | 式 | | 1 | | < 1 式当たり> その他電線 | 式 | 1 | |
| 端末処理材 | | 式 | | 1 | | < 1 式当たり> 端末処理材料（ＣＶ）ＪＣＡＡ規格 | 組 | 2 | |
| 電線管類 | | 式 | | 1 | | < 1 式当たり> 耐衝撃性硬質ビニル電線管 | 式 | 1 | |
| | | | | | | 波付硬質ポリエチレン管 | 式 | 1 | |
| | | | | | | 鋼製電線管 | 式 | 1 | |
| 電柱装柱材 | | 式 | | 1 | | < 1 式当たり> がいし（配電線用） | 個 | 1 | |
| | | | | | | 自在バンド | 個 | 10 | |
| | | | | | | | | | |

工事数量総括表

| | | 工事名 | 公共下水道 瀬越汚水中継ポンプ所改築・更新工事（電気設備） | | （ 当 初 ） | 事業区分 | 電気設備工 | | | | |
|---------------|--|-----|-------------------------------|----|---------|--------|--------------|---|--|---------------------|---------------------|
| | | | | | | 工事区分 | 電気設備工(直接工事費) | | | | |
| 工事区分・工種・種別・細別 | | | 規格 | 単位 | 数量(前回) | 数量(今回) | 数量の増減 | 摘要 | | | |
| | | | | | | | | 現場条件 | | 単位 | 数量 |
| その他器具 | | | | 式 | | 1 | | < 1 式当たり > 異種管接続材 異種管接続材 フリクトレベルスイッチ | | 組 | 1 |
| | | | | | | | | | | 組 | 2 |
| | | | | | | | | | | 個 | 1 |
| | | | | | | | | | | | |
| 補助材料費 | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 補助材料費 | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 労務費 | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 一般労務費 | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 一般労務費 | | | | 式 | | 1 | | < 1 式当たり > 電工 | | 人 | 22 |
| 技術労務費 | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 技術労務費 | | | | 式 | | 1 | | < 1 式当たり > 電気通信技術者 電気通信技術者 電気通信技術者 | | 人 人 人 | 2 1 1 |
| | | | | | | | | | | | |

工事数量総括表

| 工事区分・工種・種別・細別 | 規格 | 単位 | 数量(前回) | 数量(今回) | 数量の増減 | 電気設備工 | | |
|---------------|---|----|--------|--------|-------|---|--|--|
| | | | | | | 電気設備工(直接工事費) | 摘要 | |
| 工事区分・工種・種別・細別 | 規格 | 単位 | 数量(前回) | 数量(今回) | 数量の増減 | 現場条件 | 単位 | 数量 |
| | | | | | | | | |
| 複合工 | | 式 | | 1 | | | | |
| 複合工 | | 式 | | 1 | | | | |
| 基礎工 | 【生コンクリート 混合B種 RC - 2 1 S (b) (c) スランプ 1 2 c m 】【生コンクリート 混合B種 C 1 】【砂 凍上抑制層用材料 】【ダンプトラック [オンロード ・ ディーゼル] 1 0 t 積級 】【タイヤ損耗費 1 0 t 積級 良好 供用日 】 | 式 | | 1 | | < 1 式当たり > 埋設標識シート 鉄筋工市場単価 コンクリート 型枠 コンクリート 空積割増加算額 型枠 モルタル仕上げ アルミニウム製建具 基礎砂利 床掘り 埋戻し | m t m 3 m 2 m 3 m3 m 2 m2 箇所 m3 m 3 m 3 | 12 0.216 7.6 13.6 0.4 3.6 0.6 2.7 1 0.9 24 17 |
| | | | | | | | | |

工事数量総括表

| | | 工事名 | 公共下水道 瀬越汚水中継ポンプ所改築・更新工事（電気設備） | | （ 当 初 ） | 事業区分 | 電気設備工 | | | | |
|---------------|--|-----|-------------------------------|----|---------|--------|--------------|-------------------------|--|-----|-----|
| | | | | | | 工事区分 | 電気設備工(直接工事費) | | | | |
| 工事区分・工種・種別・細別 | | | 規格 | 単位 | 数量(前回) | 数量(今回) | 数量の増減 | 摘要 | | | |
| | | | | | | | | 現場条件 | | 単位 | 数量 |
| 構造物撤去工 | | | | 式 | | 1 | | < 1 式当たり > 構造物とりこわし | | m 3 | 2.5 |
| 直接経費 | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 直接経費 | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 機械経費(率計上) | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 仮設費 | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 仮設費 | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 仮設費(率計上) | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 仮設費(積上げ) | | | | 式 | | 1 | | < 1 式当たり > 交通誘導警備員 B | | 人日 | 5 |
| 直接工事費 | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 共通仮設費 | | | | 式 | | 1 | | | | | |
| 共通仮設費 | | | | 式 | | 1 | | | | | |

工事数量総括表

| | | 工事名 | 公共下水道 瀬越汚水中継ポンプ所改築・更新工事（電気設備） | | （ 当 初 ） | 事業区分 | 電気設備工 | | | |
|---------------|--|-----|--|----|---------|--------|-------|---|---|---|
| | | | | | | 工事区分 | 共通仮設費 | | | |
| 工事区分・工種・種別・細別 | | | 規格 | 単位 | 数量(前回) | 数量(今回) | 数量の増減 | 摘要 | | |
| | | | | | | | | 現場条件 | 単位 | 数量 |
| 準備費 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| 準備費 | | | 【ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕 10 t 積級 式】 【タイヤ損耗費 10 t 積級 良好 供用日 】 【再資源化 廃棄物受入費 有筋・無筋コンクリート 30～ 600mm ブロック・縁石・舗装止め （株）ネオリサイクル】 【廃プラスチック（ビニル類、合成繊維、硬質塩化ビニル管、継手、暗渠パイプ） （株）ネオリサイクル】 | 式 | | 1 | | < 1 式当たり > 殻運搬 処分費（t） 現場発生品及び支給品運搬 処分費（t） 現場発生品及び支給品運搬 | m 3 t 回 t 回 | 2.5 6.25 1 0.01 1 |
| 共通仮設費（率計上） | | | | 式 | | 1 | | | | |
| 純工事費 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| 現場管理費 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| 据付間接費 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| 据付（技術者）間接費 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| 据付（機器）間接費 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| | | | | | | | | | | |

工事数量総括表

| | | 工事名 | 公共下水道　瀬越汚水中継ポンプ所改築・更新工事（電気設備） | | （　当　初　） | 事業区分 | 電気設備工 | | | |
|---------------|--|-----|-------------------------------|----|---------|--------|-------|------|--|----|
| | | | | | | 工事区分 | 共通仮設費 | | | |
| 工事区分・工種・種別・細別 | | | 規格 | 単位 | 数量(前回) | 数量(今回) | 数量の増減 | 摘要 | | |
| | | | | | | | | 現場条件 | | 単位 |
| 据付工事原価 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| 設計技術費 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| 工事原価 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| 一般管理費等 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| 工事価格 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| 消費税相当額 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| 工事費計 | | | | 式 | | 1 | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |